

2024 年度ゼミ (演習 3A/演習 3B) 要覧

担当者名	紺屋あかり
演習テーマ	オセアニアの文化と社会
内容 と 卒業論文の 指導方針	履修学生は自らが設定した研究テーマについて、研究と調査を重ね、卒業論文として仕上げる。卒業論文にはかならず、問いの設定、問いの検証、検証から導かれた結果という論理的思考の過程を提示すること。卒論執筆に際して、最低でも関連文献 10 冊を精読すること (論文や資料はこれに含めない)。卒論に関する個別指導を希望する場合はオフィス・アワーを積極的に活用すること。
メール・アドレス	konya@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	月曜の昼休み (事前予約制)
授業概要	文化人類学的思考と研究手法を学びながら、オセアニア地域に関する次の 3 つのテーマについて検討を進める。(演習 3A/3B 共通) ①歴史 (植民地経験、ポストコロニアル状況) ②文化 (オセアニアの言語、身体表象、儀礼、贈与) ③社会 (先住民問題、環境問題、観光開発、移動、紛争、ジェンダー)
学習目標	1. オセアニア地域の多様性について学ぶ 2. 文化人類学的思考と研究手法について学ぶ 3. オセアニアの人々が直面している今日的課題を発見する 4. 自らが設定した研究課題に取り組む
授業計画	第 1 回 オリエンテーション 第 2 回～14 回 卒論輪読会及びグループディスカッション 第 15 回 まとめ ※卒論輪読会とは、事前に発表者の原稿を全員が読み、その内容についてディスカッションすることを指す。
予習	卒業論文の執筆、発表レジュメの準備、関連文献の精読等を行う。
復習	卒業論文の執筆、発表レジュメの準備、関連文献の精読等を行う。
授業に関する注意事項	文化人類学、及びオセアニア地域研究を受講することが望ましい。
教科書	特に使用しない。初回の授業でリーディングリストを配布する。
参考書	各自の研究テーマに応じて課題図書を指定する (授業内で配布)。
成績評価の基準	授業への参加 (質問、討論、発表など) 50% レポート 50%
関連 URL	
備考	